



【質問】台風第19号災害からの復旧・復興に向けた県の取組の進捗状況をどう捉えているか。

【知事】国の支援措置を最大限活用し、最善最速で取り組んできた。被災された方々が、一日も早く通常の生活を取り戻すよ

【質問】消費税率引き上げや米中摩擦の激化等による県民生活、県内経済への影響をどう受け止めているのか。

【知事】製造業では受注が減少しており、非製造業でも、民間の建築需要の落ち込みや台風第19号から業況の悪化がみられてい

【知事】着実に進展が見られるものは、「航空宇宙産業クラスター」形成に向けての体制整備、中央アクセス道路の事業化等である。他方で、広域観光の推進や広域二次交通網の整備、地域を担う人

【総務部長】条例案第32条の規定に沿って職員が責任を自覚し、適正な公文書管理を行えるよう、来年度から職員の意識改革に向けて取り組む。

【知事】アーキビストについては、現在国において認証制度の創設に向けた検討が進められており、この動向を注視しつつ、専門性を身に付けた職員の確保について検討する。

6月定例会日程(予定)

6月18日 開会

23日~26日 一般質問

29日~7月2日 委員会審議

3日 閉会

総務企画警察	小島 康晴	○寺沢 功希
県民文化健康福祉	高島 陽子	○熊谷 元尋
産業観光企業	◎埋橋 茂人	続木 幹夫
農政林務	中川 博司	花岡 賢一
危機管理建設	荒井 武志	望月 義寿
環境文教	小林東一郎	池田 清
議会運営	荒井 武志	○高島 陽子
決算特別(内定)	小林東一郎	◎続木 幹夫 望月 義寿

【質問】伊那谷自治体会議の座長として、リニアバレー構想の進捗状況をどのように認識しているのか。

【知事】着実に進展が見られるものは、「航空宇宙産業クラスター」形成に向けての体制整備、中央アクセス道路の事業化等である。他方で、広域観光の推進や広域二次交通網の整備、地域を担う人

【質問】公文書管理条例を有効なものにするため、県職員の意識改革の具体的な取組はどのようなか。また、適正な公文書管理に向けて、専門職である「アーキビスト」の導入を検討してはどうか。

【知事】着実に進展が見られるものは、「航空宇宙産業クラスター」形成に向けての体制整備、中央アクセス道路の事業化等である。他方で、広域観光の推進や広域二次交通網の整備、地域を担う人

【知事】着実に進展が見られるものは、「航空宇宙産業クラスター」形成に向けての体制整備、中央アクセス道路の事業化等である。他方で、広域観光の推進や広域二次交通網の整備、地域を担う人

意見書案を可決

新型コロナウイルスが急速に拡散し、国際的な脅威となっています。県内でも感染者が確認され、未だに終息に向けた見通しが立たず、県民の不安も益々高まっています。ことから、県民文化健康福祉委員会からは拡大防止対策の一層の強化、産業観光企業委員会は影響を克服するための経済対策、環境文教委員会からは学校の臨時休業の円滑な実施について、各種特段の措置を講ずることを国に求める意見書が提案され、全会一致で可決されました。また、会派からは「小児・AYA世代のがん患者の妊よう性温存への支援を求める意見書」を提案し、全会一致で可決されました。



2月13日に開会した2月定例会議は、3月11日までの本会議で、総額約9,477億円(うち、台風第19号災害対応分約492億円)の令和2年度一般会計予算案、長野県公文書等の管理に関する条例案、全ての県立高校・特別支援学校の校内無線LAN整備などの補正予算議案を含め知事提出の72議案を審議し、いずれも可決・同意しました。代表質問は、小島代表が新年度当初予算案や災害復旧、県内経済などを

【質問】「気候非常事態宣言」の趣旨は、新年度予算にどのように反映されているのか。

【知事】現在、気候危機突破方針(仮称)を策定中のため、その方針を踏まえて、様々な施策の具体化に取り組んでい

【知事】着実に進展が見られるものは、「航空宇宙産業クラスター」形成に向けての体制整備、中央アクセス道路の事業化等である。他方で、広域観光の推進や広域二次交通網の整備、地域を担う人

【知事】着実に進展が見られるものは、「航空宇宙産業クラスター」形成に向けての体制整備、中央アクセス道路の事業化等である。他方で、広域観光の推進や広域二次交通網の整備、地域を担う人

意見書案を可決

新型コロナウイルスが急速に拡散し、国際的な脅威となっています。県内でも感染者が確認され、未だに終息に向けた見通しが立たず、県民の不安も益々高まっています。ことから、県民文化健康福祉委員会からは拡大防止対策の一層の強化、産業観光企業委員会は影響を克服するための経済対策、環境文教委員会からは学校の臨時休業の円滑な実施について、各種特段の措置を講ずることを国に求める意見書が提案され、全会一致で可決されました。また、会派からは「小児・AYA世代のがん患者の妊よう性温存への支援を求める意見書」を提案し、全会一致で可決されました。

2月定例会議

新年度予算、公文書管理条例などを可決

災害復旧、新型コロナウイルス感染症対策等について議論

復旧・復興とその教訓を活かした災害に強い県土づくり、気候非常事態宣言を踏まえた取組に重点を置くとともに、しあわせ信州創造プラン20を着実に推進するべく、「命を守る県づくり」「将来世代を応援する県づくり」「時代の変化に即応した産業・地域づくり」の3つの視点により予算案を編成。

